

2023
PRIMÒ
RING PROJECT
CSR REPORT

PRIMO GROBAL HOLDINGS

目次

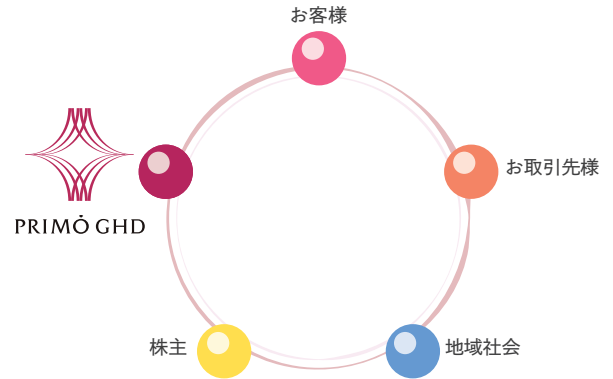
活動理念	03
2023年CSRレポート発行に寄せて・2023年プロジェクトメンバーより	04
1.お客様の想いに寄り添う	05
社内LGBTQ+の理解促進	
LGBTQ+講演会、LGBTQ+関連書籍	
LGBTQ+イベントへの協賛	
予約カード「M・F」選択肢の廃止	
障がいのあるお客様へのサービス向上	
手話講座	
車椅子インフルエンサー講演会	
バリアフリー	
2.信頼される商品を届ける	07
リング製造工程における環境配慮	
3.よりよい職場環境を育む	07
PRIDE指標2023およびD&I AWARD 2023の受賞	
ピンクリボン運動	
子供職場体験会	
子育て支援掲示板	
4.地域や環境を守り次世代へつなぐ	09
富士山自然保護活動	
全店清掃活動	
不用品の寄付活動	
自立と夢を応援するジョブプラクティス	
中学生の職場体験への協力	
環境配慮型の名刺導入	

活動理念

多くの人々の幸せを創りたいという思いから。

「最高(プリモ)の夢(おもい)を最高(プリモ)の幸(かたち)に」

この企業理念に基づき、ひとりでも多くの人々の夢を叶え、幸せを形にした
いという思いから、当社のCSR活動“PRIMO RING PROJECT”が始まりました。
プロジェクトに参加するメンバーひとりひとりが自発性と熱意を持ち、
4つの活動方針と近年ではSDGsの理念に基づき、様々な活動を行っております。
ひとりひとりの力が重なり合い、笑顔の輪(=RING)が社員、地域の皆様、
お取引先様、そしてお客様へと広がっています。



PRIMO RING PROJECTの活動意義

プリモ おもい プリモ かたち
最高の夢を最高の幸に

発展

連鎖

幸せのリングを「つなげる」「広げる」ことで
「あらゆるものに、愛され信頼される存在に」

信頼

4つの
活動方針



お客様の
想いに
寄り添う



信頼される
商品を届ける



よりよい
職場環境を
育む



地域や
環境を守り
次世代へ
つなぐ

SDGs目標
該当項目



2023年CSRレポート発行に寄せて

2023年のPRIMO RING PROJECTを振り返って

当社は創業以来、「最高の夢を最高の幸に」を企業理念とし、ブライダルジュエリーの企画・販売を続けてまいりました。人生で最も幸せな瞬間を控えて当社の店舗にご来店されるお客様はもちろんのこと、当社の活動を支えてくださるお取引先様、店舗周辺の地域の皆様、株主の皆様、そして日々業務に邁進する社員とその家族など、すべてのステークホルダーの「夢(おもい)を幸(かたち)にしたい」という考えのもと、2007年10月に収益の一部を寄付することから始まった活動は、笑顔の輪が広がることをイメージして「PRIMO RING PROJECT」と名付けられ、2024年には18年目を迎えます。

2023年度は、従来のCSR活動に加えてSDGsの理念のもと「誰一人取り残さない」ための取り組みをプロジェクトメンバーひとりひとりが深く考え提案・実行に移しました。その結果、障がいがあるお客様へのサービス向上やLGBTQ+の理解促進などダイバーシティ&インクルージョンを推進する取り組みを多く行いました。また、環境配慮への取り組みとしてリングの製造工程の把握や継続的に実施している富士山の自然保護活動を行いました。さらに児童養護施設・中学校・高校の皆さんの教育支援活動も実施することができオンラインとオフラインのハイブリッドな活動を行いました。現在あるものに満足せず、さらに上を目指すことを社員自ら考え実行することで、笑顔の輪が広がっていることを感じます。

また企業としてもダイバーシティ経営に取り組んでまいりました。社員の多様性を互いに尊重し、個々の強みで補完し、磨き合える職場環境を整備しながら、今後も関わっていただく皆様への感謝を忘れず、発足当時と変わらぬ笑顔絶やさないよう、活動を継続してまいります。また当社を取り巻く様々な経営課題にも真摯に取り組んでまいります。

今後ともPRIMO RING PROJECTの活動にご理解とご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



代表取締役

澤野直樹

2023年 RING PROJECT メンバーより

ラザールダイヤモンド銀座本店 橋本 佳奈

RING PROJECTが発足された時から活動は知っていましたが今まではなかなか参加する勇気もなく外から見ただけでした。ですが今回勇気を持ってメンバーに参加しました。思ったより刺激的で初めての経験をたくさんできました。初めはSDGsとは……?と無知だった私でも学びとともにこの1年で少しは成長できたように感じます。お店には学べないことばかりで楽しかったです。自店舗のみんなにも理解やフォローいただき感謝しています。勇気を出して【初めて】にチャレンジして良かったです！

ブランドマーケティングセクション 高垣 実穂

プロジェクトメンバーになって感じたことは、メンバーそれぞれが案件に対して熱い思いを持って参加していることでした。今まで仕事をする中で、あまり関わることのない案件だったので、自分なりに考える良い機会になりました。また、普段あまり接点のない店舗の方や本社の方と案件と一緒に進めるということは色々な意見が交換でき、視野が広がる良い経験をすることができました。これからもこの経験を活かし、色々なことに挑戦していきたいと思っています。

内部監査室 播口 恵美

RING PROJECTの発足当初から活動に参加し、ここ数年はアドバイザーや事務局としてメンバーのサポートが中心でしたが、これまでSDGsの項目で唯一達成できていなかった水資源を守る活動をどうにか実現したいという強い思いがあり、今回は企画立案から実行まですべてを主体的に取り組みメンバーの一員としての参加を決めました。自分の意見をカタチにできる喜びやここでしか経験できないことがたくさんあるため、今後も社内外へプロジェクトの魅力を発信していきたいです。

財務経理セクション 遠藤 典子

今回初めてRING PROJECTメンバーとして活動いたしました。コロナ禍も徐々に落ち着き、対面でのミーティングや活動を行う機会が多くとっても有意義な経験になりました。通常業務では関わることが少ない店舗や本社スタッフと意見を交わす機会も多く、一人では形にすることが難しい案件も周りのサポートを得ることで実現できたことが自身の成長にもつながりました。今期の活動を次期メンバーにしっかりと受け継ぐとともに、引き続きよりよい環境づくりとは何かを追求してまいります。

情報システムセクション 佐久間 潤

RING PROJECTへの参加は初めてでしたが、今まであまり関わってこなかったLGBTQ+や環境問題等、RING PROJECTでの活動を知ることができました。特に今まで勉強不足により、漠然としわがからなかったそれらの問題について、実際に体験し、当事者からのお話を直接伺ったことで、より具体的に理解できたと思います。また、業務上ほとんど関わる機会がなかったリングの製造工程等も直接見ることができ、より勉強になりました。店舗本社問わず、非常に貴重な経験ができ、自身のやりたいこと、意見を言える場ですので、良い経験ができると思います。

アイプリモ銀座本店 安東 美桜

今年度は本社、店舗と多岐にわたる所属からの参加が多く例年より多くの活動ができました。社内のみに関わらず、社外の方やお客様に直接関わる案件を進めることができ、嬉しかったです。また、富士山清掃活動や講演会など、RING PROJECTでないスタッフが参加でき楽しく輪を広げられました。またRING PROJECTに参加するのが数回ですが、新たな講演会での知識や、案件を進める上での本社目線の意見を学べ、自分の知識の浅はかさも改めて実感しました。今後RING PROJECT参加の時間のみならず視野を広く持ち必要な情報を収集していきます。

メディアマネジメントセクション 清水 伸哉

今回、初めてRING PROJECTメンバーとして参加させていただきました。普段仕事を進める中、目先のことに集中しがちですが、一歩引いて広い視野で物事を捉える良い機会になりました。LGBTQ+講演会では講師の手塚先生が「おめでとう、と誰から祝われることが少ないので、その一言が本当に嬉しい」と仰っていたのが印象的で、皆さんが普段いていただいている「おめでとうございます」の一言が大事だと感じました。今後もメディアさんとも協力して取り組みの促進に努めていきたいと思っています。

アイプリモ米子しんまち天満屋店 井川 聖子

初めてRING PROJECTメンバーとして参加させていただきました。入社して10年以上が経ち、ずっと知っていた活動でしたが外から見るのと実際に参加するのは感じるものが全く異なり、考え方も変わりました。何よりも感じたことは自分自身の勉強不足です。改めて思いなおすことがたくさんありましたが、自分の行動で何かを変えられることができる実感を感じました。といっても、私の案は実現ができなかったのですがそれまでの過程を楽しめたと感じています。メンバーに入ろうか悩んでいる方もし読んでくださっているのであれば是非まずは入ってください。私はメンバーに入って本当に良かったです。

アイプリモ甲府店 清水 りか

昨年初めてRING PROJECTメンバーに選ばれ、「自分の思ったことを実現できること」に魅了されました。そして今年度もチャレンジしてみようと思っていました。私は普段店舗でお客様とお話ししながらブライダルリングの魅力をお仕事を通じて伝えていくのが好きで、今年度は指輪の作られる工程を実際に見ることができたり、社外の方との打ち合わせに参加したり文章では書ききれない経験をすることができました。大変だったけれどやって良かったな、そんな気持ちが一番大きいです。1年を通して培った知識や経験をこれからは日常業務に役立てていきたいと思っています。

ラザールダイヤモンド札幌赤れんがテラス店 三澤 茉那

この度初めてRING PROJECTメンバーとして活動させていただきます。日常の業務を通して感じたことを1から考え、形になった時にはやりがいと達成感を得ることができました。私は特にLGBTQ+講演会の開催に向けて活動してまいりましたが、終了後にはスタッフから多くの感想が寄せられ活動の効果を感じました。また、PROJECTメンバーの皆様と活動をご一緒させていただきましたことは私にとって大きな財産です。今後も店舗だけでなく、会社全体へ貢献ができますよう精進いたします。

1

お客様の想いに寄り添う

「人生で最も幸せなお買い物」のお手伝い…その喜びと誇り、そして大きな責任感を胸に、一人でも多くのお客様にご満足いただけるよう、日々研鑽を重ねています。

社内 LGBTQ+ の理解促進

LGBTQ+ 講演会、LGBTQ+ 関連書籍

LGBTQ+について理解を深めるため、昨年に引き続き2回目のオンラインLGBTQ+講演会を開催いたしました。講師として、レインボークルー代表の手塚弥生さんをお招きし、言葉や行動に相手への思いやりを持ちながら接客することの大切さ、そして何よりも、心からおふたりへの祝福の想いを体現することの大切さについて講演いただきました。当日の講演会の内容は録画し、いつでも動画を社内で視聴できるようにいたしました。なお、PRIMO RING PROJECTメンバーの理解向上のため、予めLGBTQ+に関する書籍を購入し事前に知識を身に付けることができたため、講演会の内容をスムーズに理解することがで

きました。今後もPRIMO RING PROJECTメンバーのみならず、全店舗スタッフの理解向上のための活動を行ってまいります。



LGBTQ+ イベントへの協賛

今年度初めてさっぽろレインボープライドに協賛しました。さっぽろレインボープライド実行委員会の皆様により開催されているイベントで、メインとなるパレードは札幌では1996年より27年間行われています。毎年北海道在住のセクシャルマイノリティはもちろん、全国各地から多くの参加者で賑わいます。今年は「# 雨上がりの札幌は美しい」をテーマに、2日間でのべ2万人、パレードへの参加者は900人を動員しました。初協賛となった今回は

イベントホームページバナー広告へアイプリモのロゴが掲載され、さらにセクシャルマイノリティの方へブランドの認知を広げるため、会場にてアイプリモ、ラザールダイヤモンドのパンフレットを配布していただきました。

また、東京レインボープライドへの協賛は2021年から継続しており、今後もより多くのお客様の「夢(おもい)」を「幸(かたち)」のするお手伝いができるよう邁進してまいります。



予約カード「M・F」選択肢の廃止

ご予約を店頭で直接承る際に使用する予約カードのデザインを一部変更します。

従来のデザインではお客様記入欄に「M・F」の性別選択欄があります。実際には性別選択欄はほとんど使用していないことから、すべてのお客様に安心してご記入いただくため廃止することとなりました。また、店内満席時にいらしていただいたお客様に別のお時間にてご予約

を承る際に、どのくらいお待たせしているのかを把握するため「受付時間」を追記します。こちらは店舗スタッフからの要望により実現したものです。今後もより一層、ご来店いただいたお客様一人一人が心地良くリング選びができる空間づくりをしていきます。

尚、変更時期はラザールダイヤモンドで2024年1月頃、アイプリモで2024年4月頃を予定しています。

障がいのあるお客様へのサービス向上

手話講座

私たちRING PROJECTは数年前より、聴覚障がいがある方への活動として手話講座を実施してきました。簡単な手話を覚えるスタッフが増えたもののまだ全社員に発信できておらずRING PROJECTの発信力が求められていました。そこで今年の活動では店長会でメンバーより手話講座を行いました。店長会とは、社内の役員、店長が集まる四半期に1度の大きな会議です。RING PROJECTメンバー2人より、私たちの接客で使えるような簡単な手話を伝え一緒に実践しました。影響力のあ

る店長が各店舗に持ち帰ってくれることで、挨拶が手話でできればよりおもてなしができるのではないかと考えました。これまでは、活動報告を紙面等で行っていましたが、必ず目につく場面での活動をすることで私たちの発信力も上がっていくと思います。今後もこのような場面への参加を積極的にしていきます。



車椅子インフルエンサー講演会

バリアフリーへの理解を深めるため、2024年2月にバリアフリー講演会を開催しました。車椅子インフルエンサーとしてTVやYouTubeなど多方面で活躍されている中嶋涼子さんを講師としてお招きし、ご自身の生い立ちやアメリカ留学された際に感じた心のバリアフリーについて講演いただきました。バリアフリーに関する講演会は初の試み

となります。中嶋さんのご講演を拝聴し、ハード面が整えられるとともに周りの人の心のバリアフリーが整えられることも大切だと改めて感じました。これからもお客様の想いに寄り添い、ご来店いただいたすべてのお客様をスムーズに対応できるようサービス向上を推進してまいります。



バリアフリー

車椅子利用のお客様でも安心してご来店いただける環境づくりの一環として、Google マップのバリアフリー表示を導入いたしました。Google マップ上で「車椅子対応の場所」を有効にすることによって、車椅子対応の入り口が車椅子のアイコンで表示され、バリアフリー座席、トイレ、駐車場があるかどうかを確認できるようになりました。導入によりGoogle マップでのバリアフリー情報の検索が簡単になる

ため、車椅子利用のお客様だけでなく、ベビーカー利用のお客様や高齢のお客様など幅広くご利用いただけます。今までご来店を諦めていたハンディキャップのあるお客様でも安心してご来店いただけるきっかけ作りにもなりました。今後も障がいのあるなしに関わらず、すべてのお客様に対してよりよいサービス提供を目指してまいります。

2

信頼される商品を届ける

当社では、熟練のクラフトマンや、品質や産地に精通したダイヤモンドバイヤーが、おふたりの「一生の記念となるリング」をカタチにします。

リング製造工程における環境配慮について

私たちが扱っているブライダルリングはお客様にとって一生物のかけがえのない存在です。その大切な指輪が作られる過程は環境にどのような影響を与えているのだろうか、そんな発想からこのプロジェクトが生まれました。製造工場のご担当者様からの説明を受け、実際に工場へ足を運びこの目で指輪ができる工程を確認しました。そこではクリーンで環境への配慮が隅々までなされた製造者のこだわりを身に染みて感じることができました。ここで得た情報はお客様へ向けた「安心・安全」をお届けする大きな一歩です。

自信と責任を持ってお客様へ指輪を届けられるよう、次のステップでは社内への発信をしていきたいと思えます。



製造工程で使用する水には有害物質(酸・重金属など)が混ざってしまいます。そのため、除害処理施設で中和作業後、排出された重金属はドラム缶に集められ専門業者により回収されます。

3

よりよい職場環境を育む

お客様に最高のホスピタリティをご提供できるのは、快適な職場環境があつてこそ。

「ライフワークバランス」や「ダイバーシティ」の重要性が高まるなか、社員ひとりひとりがイキイキと、長く働ける環境を整えています。

PRIDE 指標 2023 および D&I AWARD 2023 の受賞

プリモ・ジャパンでは、ダイバーシティ経営の一環として社内のLGBTQ+に関する取り組みを進め、LGBTQ+ガイドラインの更新や、全社員へのLGBTQ+研修の導入、配偶者の定義変更、制度利用時のエビデンス排除などを行うことで、LGBTQ+への理解を深め、差別や偏見のない職場環境を育んできました。その取り組みをもとに、昨年引き続き今年度も「PRIDE指標 2023」と「D&I AWARD 2023」の2つにエントリーしました。企業のLGBTQ+への取り組みを評価する「PRIDE指標」では、2020年11月「PRIDE指標2020」にシルバーを受賞した後、2021年は最高位であるゴールドを受賞することができ、2023

年も3年連続でゴールドを受賞することができました。また今回で3度目のエントリーとなった、全国企業のダイバーシティ&インクルージョンの取り組みを認定・表彰する「D&I AWARD 2023」では3年連続で日本国内企業の中でもD&Iを先進的に進めている企業に与えられる「ADVANCED」を受賞しました。今後も継続的に“性別にとらわれない幸せの形”を社外だけでなく社内にも浸透させることで、すべてのお客様そして社員の多様性を尊重した環境整備を進めていきます。



ピンクリボン運動

毎年10月はピンクリボン月間、中でも10月1日はピンクリボンデーとされており、当社でも「乳がんの早期発見の大切さを広く伝えたい」という願いを込めオリジナルのピンクリボンバッジを着用する取り組みを行っています。

昨年同様に、中国本土、台湾、香港、シンガポールの各店舗も協力し、プ

リモグローバルホールディングス全体での着用を実現いたしました。乳がんは女性特有の病気ではなく、全員にリスクがあるということを広く知ってもらい、健康への啓蒙活動を各拠点と協力しながら積極的に行っていきたいと思えます。



子供職場体験会

お父さんやお母さんはどんな職場で働いているのだろうか？保護者の職場を体験してもらうため子供職場体験会を実施しました。初の試みでしたのでRING PROJECTメンバーのお子様を対象にし、4家族6名のお子様に参加してくれました。まずは、アイプリモ銀座本店で指輪を試着し、ダイヤモンドの輝きを感じたりドキドキ・ワクワクの時間を過ごしてもらいました。5号・6号の小さいサイズの指輪でもぶかぶ

かで、その姿がとても可愛かったです。そして次は本社へ。本社の職場見学をした後は、刻印用のイラストを考えて描く体験を行いました。お子様たちの名刺を用意しましたので、その名刺を使ってお子様同士で楽しそうに名刺交換をしてくれていました。今後、もっと多くの皆さんにもご参加いただけるようにと考えていますのでブラッシュアップしていければと思います。



子育て支援掲示板

昨今、物価高などで子育て世代に厳しいご時世となっています。そのため、少しでも子育てをする方の力になればと思い、社内のイントラネットに子育て支援の掲示板を提案・設立いたしました。掲示板の目的としては「社員間での子育て用品のリサイクル」「子供が大きくなり、使わなくなった子育て用品の譲渡を通じた子育て支援」となります。子育て用品はどうしても子供が大きくなってくると使用しなくなるものが出てきます。その際にただ捨ててしまうだけではもったいないですし、リサイクルされないのであれば多少なりとも環境に影響が出てしまいます。また、昨今では子育て世代に対して過度な負担を強いる状況となっております。そのため、子育て支援の掲示板を通じて、それらの問題に少しでも貢献できたらと思っています。

子育て支援掲示板設立について

昨今、物価高などで子育て世代に厳しいご時世となっています。そのため、RING PROJECTでは、社内で少しでも子育てをする方の力になればと思い、子育て支援の掲示板を設立いたします。

- 掲示板の目的
 - ・ 社員間での子育て用品のリサイクル
 - ・ 使わなくなった子育て用品の譲渡の促進
- 掲示場所
 - ・ ガルーン ⇒ RING PROJECTポータル
 - ⇒ [RING PROJECT] 子育て支援掲示板
 - https://pjrsv6.7.jp-bin/ibsm/gm_exp/portal/index?bid=70
- 運用ルール
 - ・ P4の「掲示板運用ルール」をご確認の上で、ご活用ください



地域や環境を守り次世代へつなぐ

日本全国でブライダルジュエリー専門店を運営する当社は、笑顔の輪を地域全体に広げ、幸せが広がる街づくりに貢献します。また、豊かで美しい環境を未来世代へつなげていくための環境保全活動にも取り組んでいます。

富士山自然保護活動

プリモ・ジャパンのCSR活動の一環として取り組んでいる富士山自然保護活動。今年もNPO法人「富士山クラブ」とともに自然環境を守るための自然保護活動を行いました。

美しい森に一步足を踏み入れると、お弁当箱や菓子袋などのごみからガラス瓶、大型の粗大ごみなど人間が放置したごみだらけで、人間がいに自然を破壊しているかを改めて思い知らされました。また今年

は、「森林保全活動」の一環として、伐採などの森林整備や森林利活用体験として伐採した丸太にきのこ菌種の植え付けを行いました。伐採する木をねらった位置に倒すために参加者全員で力を合わせる作業もあり、プリモ・ジャパンのチームワークを発揮した活動もありました。当日は天気にも恵まれ綺麗な富士山を拝むことができ、いつまでも美しい富士山であってほしいと心から思いました。



全店清掃活動

清掃活動は3カ月に1度、継続的に行っております。ごみを拾うことで町がきれいになるだけではなく、ポイ捨ての予防や地域貢献、近隣の方々への意識改革など、次につながる有意義な活動です。清掃活動をすると、ぱっと見きれいな町でも探すと木の陰に空き缶が捨てられていたり、道の端にたばこの吸い殻などが落ちていたり…と、こんなと

ころに捨てられているのかとびっくりすることもありました。本活動は87店舗全店で行っているのので地道な活動ではありますが少しでも地域の環境整備に寄与できるようにこれからも実施していきたく考えます。



不用品の寄付活動

毎年春・秋の衣替え時期に合わせて古着回収を行っています。2018年から6年目の活動となりました。今年は春に86箱、秋に69箱が集まりました。家で着なくなった洋服、不要になったファッション用品、おもちゃやぬいぐるみ等の回収をしました。今年も例年同様「いいことシップ-ECO to SHIP-」への寄付です。使わなくなったものの有効活用

でエコ活動、雇用の創出や発展途上国への支援にもつながります。また1箱につき100円が日本赤十字社に寄付され災害支援などに役立てることができました。継続的な活動で、RING PROJECTメンバーではないスタッフも精力的ですので今後も続けていきます。



自立と夢を応援する ジョブプラクティス

ジョブプラクティスとは児童養護施設で生活する中高生に向けた職場体験です。今年はいプリモ銀座本店にて3名の生徒さんが参加してくださいました。今年は今採用のRING PROJECTメンバーを中心にすることで、今までの職歴や経験を含めてプリモ・ジャパンに入社した経緯を話すことでより興味・関心を持っていただけました。生徒さんからもたくさんの質問をいただきよかったです。マナー研修や実際にダイヤモンドを指輪の空枠にのせる体験をしていただきました。ジュエリーや接客に興味がある生徒さんたちで真面目に楽しく取り組んでくれてこちらも楽しく行うことができましたし、私たちも初心に戻ることができた良い体験でした。毎年ブラッシュアップしながら良い体験を行えるようにしていきます。いつかこのジョブプラクティスに参加した生徒さんと働ける日が来ることを楽しみにしています。



中学生の 職場体験への協力

2014年から各拠点で継続的に行っている中学生の職場体験学習は、職場体験を通じて将来の進路や職業選択について考えるきっかけを作り、他の人たちとの関わりや思いやりの心を育むことの大切さを学ぶ体験となっております。カリキュラムは、社会人としてのビジネスマナー講座やブライダル業界についての説明、実際にブライダルジュエリーを扱った接客体験を行います。今年度はいプリモ京都店で実施し2名の生徒さんが参加してくれました。生徒さんからは「ダイヤモンドの取り扱い楽しくスムーズにできた接客が慣れずに難しかった。貴重な体験でした」と感想をいただきました。馴染みのない体験で難しいこともあったと思いますがとても真面目に取り組んでくれてこちら側も有意義な時間となりました。

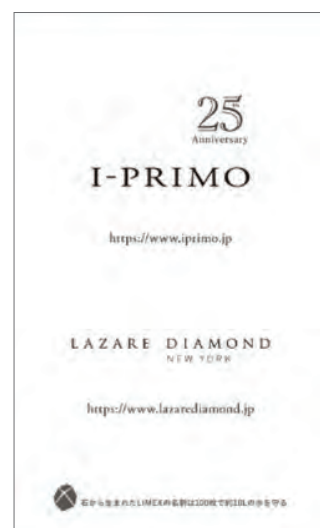


環境配慮型の名刺導入

2024年から名刺の素材に、世界中に豊富に存在する石灰石を主原料とした環境配慮型の素材『LIMEX(ライメックス)』を採用することにしました。

近年CSR活動において、SDGs(持続可能な開発目標)の枠組みが一般化していることを背景にPRIMO RING PROJECTでもそれを念頭に、より世界基準での活動に取り組んできました。しかしながら、これまで水に関する取り組みはなく「6:安全な水とトイレを世界中に」に対して何か取り組めることはないかと考え、辿り着いたのがこちらの素材でした。

『LIMEX』は、紙製名刺の製造過程と比較すると、枯渇が危惧されている水資源をほぼ使用せず、木材は一切使用しません。また、プラスチックの代替になる素材で、石油使用量とCO₂の削減に貢献しています。SDGsの取り組みに対して当社社員の当事者意識や認知向上を目指す目的もあり、数ある紙製備品の中から全社員が持つ名刺を選択しました。





本レポートの表紙にはPRIMO RING PROJECTの
シンボルパターンがデザインされています。
結婚指輪に由来したパッチワークとして古くから伝わる
“ダブルウェディングリング”をモチーフとし、
「つながり」や「広がり」、「幸せの連鎖」といった、
プロジェクトに込めた想いを表現しています。